

最近中高の友達がアイドル目指してたんです
その彼の SNS を覗いてみたら、22 歳から心機一転で
武道館を目指して頑張るみたい
中高の時にはモテるとかそんな感じじゃなかったけど
そんな彼にもしっかりファンがいて、そのファンの Twitter のアカウント名も彼の名前で
しっかりアイドルやってるんだなーって感じです
でも、一つ気になることがあって、ファンの Twitter は 600 人くらいのフォロワー
彼のフォロワーは 250 人なんです
これから増えていくのかな？応援してる
それでは、2 カンの総評を担当する

日野友貴です♪

・総評

まず、総評を書くにあたり春セミから帰った次の日に断捨離を行い、ディクテを躊躇なく捨ててしまい、テーブル内容が 4 月 14 日現在うる覚えの状態になっていること謝罪致します。誠に申し訳ございませんでした。もし、テーブル内容が間違っていた場合はテーブルの皆さんの自宅に正装で粗品を持ちお詫びに伺わして頂きます。

① テーブルの流れ

まず、オピメに確か 4 人位立候補しました。そして、ここで印象的だったのがオピメボートの質問時間が 3 分になり、つまり計 12 分の間で法政の中村君が毎回 3 分を全て使い切るくらいの怒涛の質問をして、質問時間がなくなり、テーブルの人が困惑するというのが印象的でした。そして、中村君の怒涛の質問の嵐の後、早稲田の出町さんがオピメになり、中村君の頑張りも虚しく、彼は一票も入らずオピメにはなれませんでした。可愛いなと思いついていました(笑)。出町さんのオピシは体罰を減らすために、体罰したら先生を首にするという一般的なオピシでした。

その後は傾聴力もあり、質問が活発にされ順調に進みました。

そして、S.O.H に入り「体罰はストレス耐性を作るため、深刻ではない」という反論が出ました。これに対して、まず中村君が S.O.H では A/W の存在があるというのが確認できたらタスクを達成するから DA で話そうという「それは Harm か S.O.H のデータでは??？」とみんなが驚くようなアプローチでトリートを行い、他のメンバーがそれ

は Warrant の話ではないのではという意見などにより、アーギュメンターを納得させることができませんでした。その後、出町さんが A/L/1 は深刻な人はいるという意見を基にその反論は S.Q と A.P のストレス耐性の大きさの基に SIT コンで話そうという論点提示を行い、アーギュメンターを納得させ反論を収束させました。

その後、中村君が NFC において NHK のエビデンスを使い、「現状先生の数が少ないので、Plan によって先生の数が減れば、生徒に教育を受けさせる義務に反するようなことになってしまうので、A/Con のためタッチするべきではない」という反論を行い、検証途中で終了しました。

② 一言

自分の経験上でもそうですが、そのテーブルで一番結果を残したと思っている人が勝利します。中村君は技術面に関しては、他のメンバーよりも優れている印象は全く受けませんでした。勝利欲求は他のメンバーとは段違いでありました。それが勝因になったと思います。順位が付く大会は年に2回しかありません。なので、一位が取りたいなら貪欲になってください。(私はなれませんでした)

最後に、2年生のランクはほとんど無価値に等しいです。2年の内はたくさん喋ればそれなりの結果は付いてきますが、技術の伴わない結果になり3年生で苦労します。なので、2年生の間は結果にこだわるのも大事ですが、自分の技術を伸ばすことを目標にしてください。そういう人は質問やアーギュメントやタスク流ししかできないような状態にはならず、結果を出すことが可能です。2年生が今年のアッセン、来年の春セミやアッセンでジャッチに首を傾げられることなく、ランクを獲得することに期待しています。「上の代を倒してください。2年生には期待しています。」

ここからはジファンの右腕こと立教の下吉将吾が選定理由を担当しますね。

僕からはテーブルの順位と個人総評を書きたいと思います！

① 選定理由

第1位 中村 (法政2)

周りを圧倒するほどの Q による介入でオピメさんから新情報を引き出せていたため1位としました。このテーブルにおいて突出した技術があったわけではありませんが、1番勝ちにこだわる姿勢があったからこそその1位だと思います。その貪欲な姿勢を今後も活かして頑張りたいと思います。あと、ASQ で stress tolerance のコンパリに対して、恋を経験していない teacher、すなわち童貞の teacher はストレス耐性がないという奇をてらった doubt が印象的でした。

第2位 出町(早稲田2)

オピメさんとして議論の中心にいたことを評価し、2位としました。オピメさんとして良いCCLを得るために議論を前に進めるといった介入が無く、中盤は数多のQに対して回答するだけになってしまったことが残念でした。今後は、エリア意識や議論の停滞を解消するような介入を身に付けていければ良いのかなと思います。2年生ながらQCSといった基本的なスキルの高さは感じたので、次は是非とも頑張ってください。

第3位 田中(青学2)

周りを邪魔することのない紳士的な介入で新情報を引き出せていたことを評価して3位としました。介入の質やタイミングは良いものだと感じたので、あとは量を増やしていければもっと上を目指せたのかなと思います。勝ちにそこまでこだわってない風だったから個人的にはアッセンはこだわって頑張ってください！

第4位 矢野(立教2)

介入は絶やすことなく行なっていたが、上位と比べて議論への貢献という点で劣っていたため4位となった。発言の内容自体は間違っていないと思うので、自分の発言に対してもっと自信を持って主張してこう！ニヤニヤしてるだけのあすかがよく頑張ってたと思います。おつかれ！

第5位 水谷(立教2)

矢野と同様に自分の発言をテーブルに浸透させきれていなかったため5位となった。発言の質は高く本人も納得いく結果ではないと思うが、自分の発言がテーブルにおいてどんな影響をもたらすのか考え、発信していけばもう少し議論の中心にいられたのかなと思う。ちな3位、4位、5位はめっちゃ僅差だから有効発言一つでもっと上を目指せたと思う！悔しくて流した涙を忘れないでこれからも頑張れば、絶対結果はついてくるよ！アッセンはリベンジ頑張れ！

第6位 中村(早稲田2)

ナスくんは介入がアーギュ以外限定的だったためこの順位となりました。アーギュにおいて自分の一貫した主張を示せていたことは良かったと思います。あとはアーギュ以外の部分でももっと介入していればグッドです！

② 一言

春セミお疲れ様でした！五回のテーブルを通じて、楽しかったり、嬉しかったり、悔しかったり、各々感じたものはあると思うけど、その思いを次に活かしていってくれば良いかなと思います。特に二年生はあくまで通過点です。これから先どうしていくかによって結果に大きく左右していくんじゃないかな！自分はデイスに対してそこまで熱中できた方ではないですが、負けず嫌いだっことと、お世話になった先輩にランクという形で恩返しをしたいという思いからデイスに取り組みました。動機はなんでも良いからデイスを頑張ってみたら得るものはたくさんあると思います。ってかあります！
これからの世代に期待してるのでがんばってくださいね！